

製品名: KIF2C (リン酸化 Ser95) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04920**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	KIF2C
別名	KIF2C; KNSL6; Kinesin-like protein KIF2C; Kinesin-like protein 6; Mitotic centromere-associated kinesin; MCAK
遺伝子 ID	11004.0
SwissProt ID	Q99661
免疫原	抗血清は、ヒト KIF2C の Ser95 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

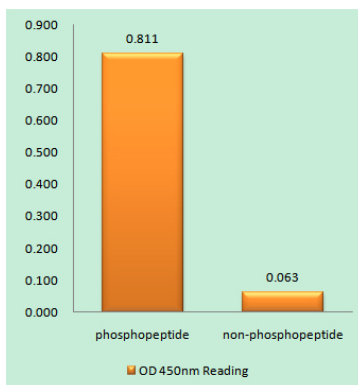
背景

キネシンファミリーメンバー 2C (KIF2C) ホモサピエンス この遺伝子は、微小管依存性分子モーターとして機能するキネシン様タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、プラス端で微小管を脱重合し、有糸分裂期の染色体分離を促進します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年7月],機能: 細胞周期全体を通して存在し、前期初期にセントロメアに結合し、終期後もセントロメアに結合したままです。 ,PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。 ,類似性: キネシン様タンパク質ファミリーに属します。 ,類似性: キネシン様タンパク質ファミリーに属します。 MCAK/KIF2 サブファミリー。 ,類似性:1 つのキネシンモータードメインを含む。 ,サブユニット:CENPH と相互作用する。 ,組織特異性:胸腺と精巣で高レベルで発現し、小腸、結腸粘膜内層、胎盤で低レベルで発現し、脾臓と卵巣で非常に低レベルで発現している。前立腺、末梢白血球、心臓、脳、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓では発現が検出されない。 ,

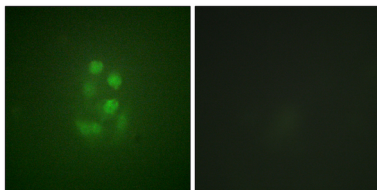
研究分野

シグナル伝達

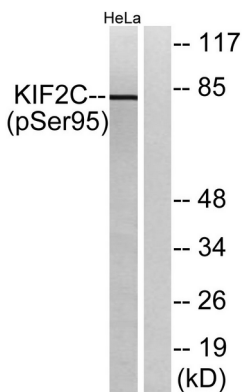
画像データ



KIF2C (リン酸化 Ser95) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



KIF2C (リン酸化 Ser95) 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



TNF 10 ng/ml 30 μ L 処理した HeLa 細胞ライセートの KIF2C (リン酸化 Ser95) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンにはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。